

令和3年度 インターグループホーム 事業計画

事業所名	インターグループホーム
施設長	児玉 和也（兼務）
管理者	蓑山 幸恵
実施事業	認知症対応型共同生活介護 介護予防認知症対応型共同生活介護
開設年月日	平成17年12月1日
所在地	鳥取県倉吉市福守町407-12
正規職員数	2名
準職員数	4名
契約職員数	10名
定員	18名
職員配置	管理者兼介護支援専門員 1名・介護職員12名 夜間専門員 2名 ・ 介護補助員 1名 計16名

1 基本方針

認知症になっても、地域の中であたりまえの暮らしができるように、ご利用者の個性を尊重し、家庭的な環境のもとで一人ひとりの力を引き出せるように支援します。また、ご利用者の心身の状態を把握し、医療機関と連携を図りながら適切な対応に努めます。地域の一員として、地域活動を通じ馴染みの関係築き、大切にします。

2 運営

- (1) ご利用者様の今までの生活を把握し、その人らしい生活ができるように支援します。
- (2) アセスメントを行い、一人ひとりの持っている力を引き出せるように支援します。
- (3) 個人を尊重し、側面からご利用者様を支え、思いを大切にすることで、安心感が得られるよう支援します。
- (4) ご利用者様の心身の状態を把握し、安心して適切な医療が受けられるように支援します。
- (5) 地域との関わりを大切にし、地域の一員として様々な人々との交流が図れるように努めます。
- (6) 提供するサービスの質の評価を行い、改善を図るよう努めます。
- (7) 生活支援
 - ① ご利用者様の自立支援を目的とし、意欲的に取り組める支援を目指します。ご利用者様が持ち合わせておられる可能性も踏まえ、支援内容に反映します。
 - ② 日々の生活を送る中で無理のない生活リハビリを実施し、身体機能の維持を目指します。
 - ③ ご利用者様のニーズに合わせた外出支援を行い、事業所内だけの活動ではなく、地域との繋がりを絶やさず心豊かな生活の実現を目指します。

3 主な事業活動

(1) 施設整備事業

物置の設置工事 148千円

(2) 事業活動

- ① インター畑では、穀物や果物などの作物を自然豊かな環境の中で育てる喜び、採れた食材を使い、食す楽しみを提供していきます。
- ② 植栽したバラを造形し、ご利用者様の憩いの場、地域景観の潤いを実現します。また、地域住民の皆様にも楽しんでいただき、施設の特徴として発信します。
- ③ 年1回地域交流カフェを開催し、地域の関係機関や住民の皆様をご招待し、地域にねづき開かれた施設にします。
- ④ 近隣施設と合同で、ご利用者様と子どもたちのふれあいや認知症理解の推進を目的とした『なかよしカフェ』を開催し、認知症の理解を深めることで認知症であっても地域で変わらない生活の実現を目指します。
- ⑤ 地域との繋がりを大切に、コスモスプロジェクトを実施していきます。地域住民、近隣の小学校へコスモスの種の配布等を行い、コスモスを通して交流を図り、地域の一員としての理解促進に努めます。
- ⑥ 私たちはご利用者様の今まで続けてこられたこと、大好きな趣味、叶えたかった夢を応援します。年間を通し、お一人ずつ、または皆様で夢を実現し、笑顔で過ごせる日を少しでも多く支援します。
- ⑦ 新型コロナウイルス感染予防対策として直接のご面会を制限する場合には、タブレット端末を活用したオンラインでのご面会を提供し、ご利用者様がご家族様や知人と会う楽しみを維持します。

4 安全管理・衛生管理

- (1) マスクの着用、手指消毒の徹底、施設内の定期的な消毒・換気の実施、ご利用者様・職員の健康管理等の予防策を日々実践し、感染症の予防、拡大防止に努めます。
- (2) 新型コロナウイルス感染症については、手洗い、マスクの着用、手指のアルコール消毒を徹底し、三密を防ぎ、感染拡大防止に十分に配慮します。
- (3) 「気づき」の観察力を高めるため、ヒヤリ・ハットを実践することにより、リスクマネジメントとして分析し、事故防止に努めます。
- (4) 設備・備品等の安全管理を行い、物品等の整理整頓及び福祉用具等のメンテナンスを徹底するとともに環境整備に努めます。
- (5) 車両について使用前の日常点検などの安全管理を徹底するほか、運転の状況などを把握するため、運転日誌等の記録を行います。
- (6) 職員に対し、道路交通法等関係法令を遵守し交通安全に努めるように、研修などを通じて安全教育を実施します。

5 防火・防災・救助活動

防災計画及び災害対応マニュアルにより、防災及び災害時の人命の安全、被害の軽減を図ります。

- (1) 防火管理者を中心に、入居ご利用者様の実態に即した防災訓練（年2回）を実施

するとともに、防災活動への参加、地域防災情報の把握に努めます。

- (2) 有事に迅速な対応ができる環境整備を進めるとともに、スプリンクラー等の点検、防災設備の点検を行い、ご利用者様の安全の確保を行います。
- (3) 近隣自治公民館との連携による緊急時避難体制を確立します。
- (4) 地震、風水被害等の自然災害及び火災に備え、食料品・日用品・防災品・衛生品等の必要品を備蓄します。

6 職員の資質の向上と研修

施設内外の各種研修を通じて職員の資質の向上を図ると共に、専門知識及び技術の向上を目指します。

(1) 外部研修への参加

認知症実践者研修、介護専門職研修、鳥取県社会福祉協議会、地域包括支援センター等が主催する研修の参加を通じ、知識や技能の習得に努めます。

(2) 法人内部研修への参加

法人内の研修は、研修内容に応じた職員が参加し必要な知識、各種の介護技術の取得を図ります。

(3) 施設内研修の実施

- ① 年間計画に沿った施設内勉強会の実施や、外部研修で学んだことの伝達研修を行います。また、実践を用いた活きる研修を実施し、個々のスキルアップを目指します。
- ② 実務経験の少ない職員については、知識や技能、経験の高い職員により実務を通じた研修を行い、人材育成に努めます。
- ③ ストレスマネジメント研修などを実施し、職員のメンタルヘルスケアに努めます。

(4) 職員の資格取得のための取組

法人が定めた「国家資格等取得者に対する助成要領」による資格取得に対する助成制度を活用し、キャリアアップ・知識及び実技の習得について既得職員等に介護福祉士や介護支援専門員などの資格取得を促します。

7 各種団体との地域交流

- ・ご利用者様とご家族様や保育園、地域・団体等との交流の場を設ける等しながら、社会の一員として積極的に社会交流が図れるよう努めます。
- ・グループホームが立地する地域へ積極的に出向き、地域住民の方の理解と協力制の確立を目指していきます。
- ・学生、傾聴、介護ボランティア等の受け入れを行い、グループホームやご利用者様への理解に繋がるよう努めます。

(1) 広報誌の発行・配布

発行回数：4回／年

配布先：倉吉市、地域包括センター、地区公民館、地元自治会、など

(2) 地域交流行事

5月・12月：家族交流会

8月：福祉の里夏祭り

9月：敬老会 合同夕涼み会

11月：福祉の里文化祭

8 年間行事等

別紙のとおり